



平成 30 年度 友の会会員募集のお知らせ

平成 30 年度石川県輪島漆芸美術館友の会会員募集と更新手続きの受付を開始いたします。本会は、漆芸のほか美術全般に関する知識を深め、会員相互の親睦を図るとともに、美術館活動の支援を目的としています。会員には鑑賞会・研修旅行・お茶会等への参加や、友の会だより・美術館だより、催し物の案内等が送られ、その活動に優先的に参加することができます。

更に特典として、当館招待券の配布や、相互割引を提携している県内の美術館・博物館(注 1)に団体料金で入館できます。皆様お誘い合わせの上、ご入会下さい。

会 費

◆個人会員

1 年【平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日】・・・1,000 円(招待券 2 枚)

2 年【平成 30 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日】・・・2,000 円(1 年毎に招待券 2 枚)

◆家族会員：代表者と生計を共にする 2 名以上のご家族

【平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日】・・・2,000 円(招待券 4 枚)

◆賛助会員：友の会の発展にご協力いただける個人及び団体

【平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日】・・・5,000 円

(招待券 4 枚のほか当館出版物などを進呈)

入会方法

◆当館受付 直接当館受付で、入会申込書に必要事項をご記入の上、会費を添えてお申し込み下さい。

◆郵便振替 払込取扱票の通信欄に住所・氏名・電話番号をご記入の上、会費は郵便局からお振り込み願います(払込手数料は申込者負担)。

郵便振替口座 00700-5-37141

加入者名 輪島漆芸美術館友の会

◆インターネット 美術館 HP の友の会から「友の会入会申込書」をダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、メールアドレスに申込書を添付してお送り下さい。会費は郵便局からお振り込み願います。

(E-mail urushiart@ca1.wannet.jp)

注 1：石川県立美術館、石川県立歴史博物館、石川県七尾美術館、石川県能登島、ガラス美術館、珠洲市立珠洲焼資料館、輪島市櫛比の庄禅の里交流館、輪島市天領黒島角海家

***会員証の交付は 3 月下旬になります。**

***平成 29 年度招待券を、まだご利用されていない方はぜひご利用下さい。(有効期限：平成 30 年 3 月 31 日まで)**

***ご本人様以外でもご利用いただけます。**



裏面もご覧ください

- ◇ 藍住町歴史館・藍の館
- ◇ 勝瑞城館跡
- ◇ 栗林公園
- ◇ 香川県漆芸研究所
- ◇ 四国村
- ◇ 香川県立ミュージアム
- ◇ 瀬戸内海歴史民俗資料館
- ◇ 松山城

栗林公園



藍住町歴史館・藍の館



藍染め工程見学！！

期待を膨らませた秋季研修旅行では、これまで行く機会に恵まれなかった四国

の地を訪ねる事となった。のと里山空港を出発し、徳島空港に到着。先ず向かったのは「藍住町歴史館・藍の館」。藍住町教育委員会重見高博氏にお出迎えいただきました。藍の栽培、加工、流通、染めの工程など解説を聞きながらの見学ができ、阿波藍商の先人を偲ぶ事が出来ました。次に勝瑞城館跡に移動。発掘調査で発見された普段目にする事のない大規模な濠跡を直に見学するまたとない機会となりました。夜は研修旅行への想いや一日の感想をテーブルを囲んで語りながら、楽しい懇談のひとときを過ごしました。

親睦会



香川県漆芸研究所



実習室見学！！

2日目は香川県から愛媛県へ。先ず栗林公園で一步百景と言われる変化に富んだ美しさに魅了されました。

次に向かった香川県漆芸研究所では、漆芸家藪内江美氏、竹内幸司氏に解説していただき、蒟醬(きんま)、存清(ぞんぜい)、彫漆(ちょうしつ)のそれぞれの特徴を学びながら特別に実習を見学。昼食は四国村内で地元でも人気の讃岐うどんを堪能しました。歴史、文化に触れながら、香川県立ミュージアムを見学し、最後に向かったのは瀬戸内海歴史民俗資料館。建物は石積みをを基調として、周辺の自然環境と調和しており、1975年には「日本建築学会賞」を受賞し、「公共建築百選」にも選ばれています。その展望台から見渡した周囲の島々の景色は壮観でした。

讃岐うどん堪能



瀬戸内海歴史民俗資料館



建築も楽しみました！！

最終日は愛媛県松山城へ。難攻不落ともされる固い守りの工夫が随所に見られ、先人達の知識や工夫や文化に触れ、歴史浪漫を満喫。

チョット欲張りな旅で、後日に疲れが出た方もいらっしゃったかもしれませんが、美術・文化・歴史・風土に触れる感動を心いくまで味わう事ができた三日間でした。

松山城

